



CFTC建玉報告:円/ドル、ユーロ/ドル(10月2日時点)

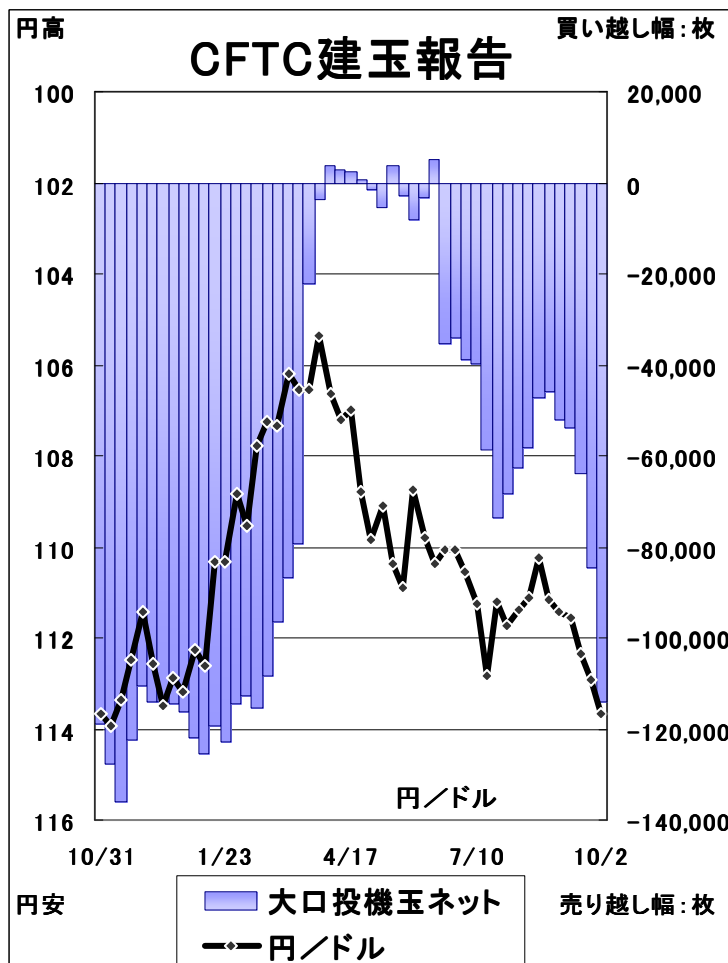
米商品先物取引委員会(CFTC)が10月5日に発表した建玉報告によると、2日時点のシカゴ・マーカンタイル取引所(CME)IMM通貨先物円(対ドル)相場の大口投機筋(非商業部門)の売越幅は、11万4046枚となり、前週比2万9327枚拡大。投機筋は売り買い共にポジションを増やし、売りポジションをより多く増やした。

期間中の円(対ドル)は軟調。25、26両日の米連邦公開市場委員会(FOMC)後に公表された声明と経済・金利見通しでは、米経済の強さへの自信と緩やかな利上げペースの継続方針が示された。概ね予想通りの内容だったことで影響は限られたが、日米の金利差を意識した円売りドル買いが入った。また、イタリアの財政赤字拡大に対する懸念からユーロが対ドルで急落したことからドルが買われ、円安ドル高が一段と進行した。

期間中のユーロ(対ドル)は上伸。大口投機玉のポジションは前週の買い越しから売り越しに転じ、売越幅は7101枚となった。投機筋は買いポジションを減らし、売りポジションを増やしていた。

イタリアの地元紙が27日の2019年予算案を巡る閣議について延期の可能性を報じたほか、トリア伊財務相が辞任するとの観測も浮上し、ユーロ安地合いが進んだ。その後、首相官邸が報道を否定し協議は行われたが、財政赤字をGDP比2.4%に拡大する方針と伝わったことで、欧州委員会との対立観測が浮上。欧州連合(EU)の執行機関である欧州委員会のユンケル委員長は1日、イタリア連立政権が示している来年度予算案について、EUの財政規律から乖離(かいり)し過ぎているとし、同国に対し予算案を正式決定しないよう呼び掛けるなど、イタリアの財政問題を巡る懸念から、ユーロ売りドル買いが進行した。

日付	円/ドル		ユーロ/ドル	
	終値	枚数	終値	枚数
06/05	109.79	-3,437	1.1715	89,236
06/12	110.38	5,052	1.1744	88,225
06/19	110.08	-35,562	1.1588	36,118
06/26	110.07	-34,221	1.1646	33,904
07/03	110.57	-38,730	1.1658	36,747
07/10	111.26	-39,832	1.1747	24,357
07/17	112.85	-58,650	1.1662	21,407
07/24	111.19	-73,769	1.1682	29,640
07/31	111.75	-68,457	1.1696	22,825
08/07	111.37	-62,807	1.1598	10,565
08/14	111.14	-58,368	1.1343	-1,789
08/21	110.22	-47,406	1.1571	-4,841
08/28	111.17	-46,041	1.1694	-7,219
09/04	111.45	-51,932	1.1582	7,963
09/11	111.56	-53,886	1.1606	11,170
09/18	112.33	-63,755	1.1667	1,666
09/25	112.94	-84,719	1.1766	3,696
10/02	113.65	-114,046	1.1546	-7,101
前週比	0.71	-29,327	-0.0220	-10,797



第一商品株式会社 〒150-0045 東京都渋谷区神泉町9番1号 神泉プレイスビル フューチャーズ・24

このレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたもので投資勧誘を意図するものではありません。投資の最終的な決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い致します。レポートに記載の内容等は作成時点のものであり、当社はその正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく修正、変更されることがあります。商品先物取引業者 日本商品先物取引協会会員 当社お客様相談窓口(東京・本社) 0120-770-266、日本商品先物取引協会相談センター東京本部 03-3664-6243。